

# さんけん新聞

発行  
NPO法人  
三段峡-太田川  
流域研究会  
(代表・本宮炎)

〒731-3813  
広島県山県郡  
安芸太田町  
柴木1734  
090-34213046

## 一口メモ

▼ルーペ片手に  
五月、キシツツジが岸辺を染め、探勝路脇にはユウシユンランやセッコクなどの珍しいランが咲く。茶花に使われるハナイカダは、葉の真中に花を咲かせる。ルーペを覗くと花卉の数や形の違いに気付く。調べると雄花と雌花。ミクロの世界を観察し、発見する楽しさがある。

## シーズン前探勝路すつきり

さんけん会員ら十一人が四月十五日、三段滝一餅ノ木下口間の探勝路二ヶ強を掃除した。「三段峡を清掃しながら歩こう会」と銘打って取り組んだ初めてイベント。二十一日には「三段峡谷開き」の神事が熊南峰頭影碑前であり、春の観光シーズンに入った。

### 峡内の安全祈る

「三段峡谷開き」には三段峡観光同業組合員ら十二人とさんけん会員三人が参列し、往来安全を祈願した。黒淵の渡船は二十一日から、猿飛の渡船は探勝路の修復が終わり二十八日から営業を開始した。

## 古里の魅力次世代へ 4人がガイド 上殿小 遠足で入峡



安芸太田町立上殿小学校の児童が四月二十七日、全一ツに、低学年七人は正面口から黒淵までの往復六ヶ、中学年十一人は水梨口までの同十二ヶ、高学年八人は三段滝までの同十五ヶを完歩した。低・中学年には狼や竜、花のエリアなどでス

## 聞く会 露翠の孫 斎藤更生さん訪問



斎藤露翠の孫、北広島町大朝の斎藤更生さん(八二歳)を四月十七日、二月の「聞く会」で話を聞いた堂河内福夫、山下幸作の両氏とさんけん会員が訪問した。露翠のピンコードを聞き、プライベート保護を条件に、露翠が残した日記の撮影許可を得た。

## 初の「三段峡を清掃しながら歩こう会」

今回作業した区間は、さんけんも協力し、三段峡関係の事業者などが四日に清掃した際、残雪などの影響によって立ち入れなかったルート。

## 11人がいい汗 爽快感

作業は午後五時に終了した。参加者からは「楽しくて、むしろやめられなかった」「苦労したが、終わったら爽快感がある」「自分で掃除すると風景の見え方が変わる」などの感想が聞かれた。

## 安芸太田町里山ガイド研修 「ガイドシート」手に峡内で実地確認

安芸太田町里山ガイド研修会が四月二十八日、十七人が参加してJ.A.広島市戸河内支店で開かれた。本宮炎理事長が「三段峡のガイドをより良くするために」をテーマに講師を務めた。さんけんからは教育旅行などの団体を受け入れる方法として、長淵から黒淵までを六つのエリアに分けた「三段峡ガイドシート」を説明した。

## 南峰と歩く⑦ 樽床(たるとこ)

八幡村樽床の集落は一九五七年、聖湖に沈んだ。三段峡の北の玄関口にあたり、峡北館という宿があった。主は地元の名士、後藤吾妻である。共益的な組織を作るなどして地域を潤したリーダーで、熊南峰、斎藤露翠らの「峡友」として三段峡開発に尽力した。自動車路ストップ 三十九年、民俗学者の宮本常一が峡北館に泊まり、後藤に聞いた話を著作「村里を行く」に残している。その中で後藤は、峡内に「自動車路をつけようとする県に反対し、戦後、ダム建設が持ち上

## 自然破壊に反旗 後藤吾妻(こ)に

また、道の石垣をコンクリートにかえようとするのさへ拒否し、『この風景は自故郷の消滅だけでなく、三段峡の破壊も反対理由に掲げた。南峰は既に亡く、戸河内町と八幡村は冷たかった。』 峡谷の保全に成果 「三段峡保全ダム反対血誓



探勝路を清掃するさんけん会員ら(上)。安全を祈願した峡谷開き(下)



今後、さんけん会員参加イベントとして、定期